


分野	44	防災・安全	通番 112
施策	442	災害時に生きるネットワークづくり	
5年後の目標		災害が発生しても適切な対応ができるよう、様々な主体が、平常時からタイムラインに沿った行動計画の策定や、訓練において協働し、知識普及と意識啓発に努めている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	防災訓練等実施事業		会計	款	項	946,411	防災・安全 推進室
			一般	2	1		
事業の概要							
大規模な災害の発災時に被害を最小限にとどめるために、平成32年度までに全小学校区における、住民主体の一斉防災訓練が実施できるよう支援します。 災害時に市民と行政が協働で運営する「避難所運営委員会」を平成29年度までに1小学校区で設置し、その後、全小学校区での設置をめざします。							


令和2年度の取組							
D (取組)	指標	小学校区毎の防災訓練実施数				単位	小学校区
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	1(校区持ち回りによる全市一斉訓練の実施) (平成26年度)	目標	3	4	9	9	10
		実績	4	台風により中止	9	9	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止
<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各校区ごとの防災訓練は中止となりましたが、10月の最終日曜日「長岡京市防災の日」である令和2年10月25日に長岡第七小学校にて本市主催の避難所設営・運営訓練を実施しました。各校区コミュニティ協議会等から数名訓練に参加いただき、新型コロナウイルス感染症が収束しない状況下における避難所設置を見学いただきました。</p>					避難所設営・運営訓練		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価 令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		防災訓練参加人数	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各校区ごとの防災訓練は中止し、市主催の避難所設置訓練のみを実施しました。		207
達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	達成状況	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全校区訓練中止となりました。</p> <p>・市主催で新型コロナウイルス感染症が収束しない状況下における避難所設営・運営訓練を実施し、各地域コミュニティ協議会等に見学していただきました。</p>		
課題等	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響で訓練等が実施できず、地域コミュニティ協議会や自主防災会の活動が希薄になっています。</p> <p>・各地域コミュニティ協議会等と協議を行い、その地域のニーズに合わせたより実践的な訓練の実施が必要です。</p>				

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1:計画通りに進めることが適当	<p>・全校区一斉開催を目指し、各校区ごとの新たな課題への対応を取り入れた訓練や実災害で地域主体の避難所運営ができるよう実践的な訓練の実施を促します。</p> <p>・各校区の訓練実施主体者の集まる情報交換会を実施し、各校区毎の課題や、訓練についての工夫などの共有を図ります。</p> <p>・現段階では避難所運営委員会の設置は完了していませんが、発災時に速やかに避難所運営委員会を立ち上げ・機能するように、地域コミュニティ協議会や自主防災会と市が平時から体制を整備します。</p> <p>・コロナ禍でも実施できる防災訓練を検討します。</p>

分野	44	防災・安全	通番 113
施策	442	災害時に生きるネットワークづくり	
5年後の目標		災害が発生しても適切な対応ができるよう、様々な主体が、平常時からタイムラインに沿った行動計画の策定や、訓練において協働し、知識普及と意識啓発に努めている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	自主防災組織強化事業		会計	款	項	2,370,000	防災・安全 推進室
			一般	2	1		
事業の概要							
研修会等プログラムを実施し、地域の中に防災知識と地域事情に熟知した防災リーダーを育成します。自主防災組織の充実と自主防災組織が未組織である自治会へ組織化に向けた働きかけを強化します。							

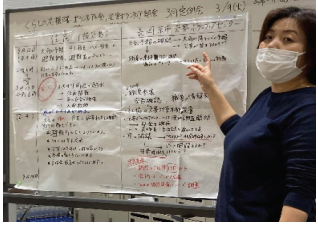
令和2年度の取組								
D (取組)	指標	自主防災組織結成数					単位	団体
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2	
		目標	55	56	57	58	58	
	53(平成26年度)	実績	54	55	55	56	58	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2地域で自主防災会が結成され、すべての自治会で自主防災会が結成されました。 ・ 地域での研修会や出前講座等への職員派遣により、自治会未組織地域へ自主防災会結成の促進を図りました。 ・ 27の自主防災会の防災資機材等の購入や防災知識の普及啓発事業に対し、総額1,053,000円の育成補助を行いました。また新型コロナウイルス感染症対策として46の自主防災会の衛生用品購入に対し、総額1,317,000円の補助を行いました。 					出前講座(マイ防災マップ)			
								

施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和2年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
		—			—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ すべての自治会で自主防災会が結成されました。 ・ 令和2年度は出前講座を10回実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響で出前講座の回数が減少しました。 ・ また、今後発生することが予想される南海トラフ地震や近年多発する大雨への備への重要性、災害時の対応などについて啓発活動を実施しました。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織のリーダーの高齢化が進んでおり、地域防災の担い手を確保することが困難な状況にあります。若年層を中心とした幅広い世代や女性の防災活動への参加を推進する必要があります。 ・ 災害への備えや避難の方法・タイミングなど、災害時の対応を今後も啓発していく必要があります。 					

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、自治会未組織地域に対しても自主防災会結成に向けて積極的な働きかけをしていきます。 ・ 幅広い世代が参加できるような活動支援や避難行動タイムラインの作成を通して自主防災活動の活性化をはかります。 ・ 今後も自治会や出前講座を通して、災害への備えや自助・共助の重要性等について啓発を行います。

分野	44	防災・安全	通番 114
施策	442	災害時に生きるネットワークづくり	
5年後の目標		災害が発生しても適切な対応ができるよう、様々な主体が、平常時からタイムラインに沿った行動計画の策定や、訓練において協働し、知識普及と意識啓発に努めている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	災害ボランティアセンター充実事業		会計	款	項	6,716,843	防災・安全 推進室
			一般	2	10		
事業の概要							
市と災害ボランティアセンターが連携し、防災に関する研修会や人材育成を行います。南部地域防災拠点については、備蓄倉庫の機能とともに、災害ボランティアセンターが行う事業の実施場所としても活用します。							

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	災害ボランティアセンターと連携した研修会・講座の実施回数				単位	回
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	30	40	45	50	58
	22(平成26年度)	実績	37	38	40	43	14
<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市災害ボランティアセンターに専従職員を配置し、さまざまな方を対象とした研修会・講座を開催しました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況下で支えあいの継続、活動意欲の維持を目的に、「おうちでできるボランティア活動」として布マスクづくりを提案しました。市役所等にマスクBOXを設置し、寄附いただいたマスクは高齢者施設等へ配布しました。 ・メーリングリストの整備及び登録促進を行いました。 					研修会 		

施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和2年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	C: 目標の一部を達成できなかった	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で研修会の実施回数は減少しました。 ・メーリングリストやコロナ禍でのボランティア活動等について、ラジオで啓発を行いました。 ・災害ボランティアセンターの情報提供希望者が3名、4団体増加しました(計94名(個人)、20団体)。 	—	—
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、地域での防災訓練の中止、自主開催の研修会等も中止となりました。これまでの対面での研修等の方法では、対応が困難であるため、新しい防災および災害ボランティアの研修手段が必要です。 				

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
1: 計画通りに進めることが適当	対応策等 <ul style="list-style-type: none"> ・各校区ごとの地域活動団体と連携を強化し、防災訓練で災害ボランティアセンター設置・運用を行います。 ・迅速な情報発信のため、特に福祉事業所に対しメーリングリスト登録を促進します。

分野	44	防災・安全	通番 115
施策	442	災害時に生きるネットワークづくり	
5年後の目標		災害が発生しても適切な対応ができるよう、様々な主体が、平常時からタイムラインに沿った行動計画の策定や、訓練において協働し、知識普及と意識啓発に努めている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	災害時要配慮者支援体制づくり		会計	款	項	目	1,710,661	社会福祉課
			一般	3	1	1		
事業の概要								
災害時にひとりで避難することが困難な人(災害時要配慮者)の把握と避難支援に向けた個別計画の策定に取り組み、災害時要配慮者に対する地域での避難支援体制の整備を進めます。								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	災害時要配慮者支援制度登録率 (災害時要配慮者名簿における同意名簿登録者数÷全体名簿登録者数)				単位	%
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	40.0	42.0	46.0	48.0	50.0
		実績	39.1	39.1	88.2	83.2	81.1
<ul style="list-style-type: none"> ・この1年間で新たに制度の要件に当てはまることとなった人に、制度案内と登録希望の意向確認書を個別に郵送にて案内するとともに、自治会回覧などにより広く制度を周知しました。9～11月に民生児童委員により、新規登録希望者やすでに登録している人に変化がないか訪問による調査を行いました。 ・民生児童委員から提出された情報を整理・更新し、2月に民生児童委員、3月に自治会長会に対し、更新後の最新名簿を提供しました。 ・避難支援プラン(個別計画)をすべての自治会に提供しました。 ・避難において支援が必要な人が登録につながるように、ケアマネジャーなどの福祉の支援者に対して制度の説明を行いました。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応員
		—	—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要配慮者の避難支援に関する情報が行政に集約されるとともに、自治会・自主防災会等において日々の見守り等にも活用されるよう、地域との情報共有ができました。 ・一部の自治会未組織地域で避難支援プラン(個別計画)活用のため、町内会と連携して情報共有ができるようになりました。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・登録希望の意向確認書について、これまでは災害時要配慮者支援制度に該当しない人は返信不要としていたため、該当しないから返信がないのか、制度案内や登録希望の意向確認書が届いていることに気付いていなかったり、制度について理解できなかったりして返信がないのか分からない状態です。 ・避難支援プラン(個別計画)作成に取り組む自治会が増加していません。 			

次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時要配慮者支援制度に該当しない人についても、登録希望の意向確認書の返信を必須とし、制度理解がどれだけ進んでいるかを把握するとともに、対象者の意思を反映しやすい調査票に変更します。 ・災害時要配慮者に該当する人が申請されるよう個別案内以外に福祉サービスなどで支援している関係機関への制度周知活動を行い、必要な支援が必要な人に届くように広報活動を行います。 ・避難支援プラン(個別計画)作成の取り組み推進のため、モデル自治会の事例などをまとめ他自治会・自主防災会との情報共有を図ります。 ・避難支援プランの作成を検討する自治会等には出前講座等で制度説明やプラン作成方法を提案します。